



各 位

会 社 名 株式会社アパマンショップホールディングス
(JASDAQ・コード8889)
代 表 者 代表取締役社長 大村 浩次
本 社 所 在 地 東京都中央区京橋一丁目1番5号
問 合 せ 先 常務取締役 石川 雅浩
T E L 0 3 - 3 2 3 1 - 8 0 2 0

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 9 月期第 2 四半期において、下記のとおり特別損失が発生する見込みであるため、その概要をお知らせするとともに、平成 23 年 2 月 14 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生とその内容について

(1) 連結

当社子会社の保有する固定資産(不動産)について、有利子負債の削減を目的とした売却予定不動産のうち、売買契約締結済ならびに買付等取得済物件について、売却見込額との差額を減損損失として 415 百万円計上いたします。

(2) 個別

当社子会社に対する金銭債権のうち、有利子負債の削減を目的とした保有不動産売却に伴い発生する取得価額と売却額との差額等に相当する、回収可能性の低い貸付債権に対して、547 百万円の引当処理を実施いたします。

2. 連結業績予想の修正について

(1) 平成 23 年 9 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,000	1,100	300	△450	△346.61
今回発表予想(B)	22,584	1,305	600	△685	△524.78
増減額 (B-A)	584	205	300	△235	—
増減率 (%)	2.7	18.6	100.0	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 22 年 9 月期第 2 四半期)	24,353	811	481	319	258.91

(2) 平成 23 年 9 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	43,000	1,700	500	200	157.85
今回発表予想(B)	43,000	2,000	650	△1,800	△1,378.81
増減額 (B-A)	0	300	150	△2,000	—
増減率 (%)	—	17.6	30.0	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 9 月期)	47,307	1,673	480	3,058	2,413.64

(3) 修正の理由

< 第 2 四半期 >

売上高においては、前回予想発表以降の 2・3 月も幹旋事業およびプロパティ・マネジメント事業の主要事業を中心に概ね堅調に推移し、前回予想より 584 百万円増の 22,584 百万円となる見込みです。営業利益においては、売上高の増加に加え、販管費の削減効果も寄与し、前回予想より 205 百万円増の 1,305 百万円となる見込みです。経常利益においては、営業利益の増加に加え、金利スワップ評価益が発生したこと等の要因により、前回予想より 300 百万円増の 600 百万円となる見込みです。四半期純利益においては、経常利益の増加要因はあるものの、1. 記載の特別損失の計上等の要因により、前回予想より 235 百万円減の △685 百万

円となる見込みです。

<通期>

売上高においては、前回予想通りの 43,000 百万円となる見込みです。営業利益においては、東日本大震災の影響等不透明な要因はあるものの、第2四半期までの営業利益の増加により、前回予想より 300 百万円増の 2,000 百万円となる見込みです。経常利益においては、平成 23 年3月払込の優先株式・新株予約権発行に伴う新株発行費の発生等の要因はあるものの、前記の経常利益の増加により、前回予想より 150 百万円増の 650 百万円となる見込みです。当期純利益においては、第2四半期までの減少要因に加え、第3四半期以降においても有利子負債の削減を目的とした保有不動産の売却による固定資産売却損の発生を保守的に見込んだこと等の要因により、前回予想より 2,000 百万円減の△1,800 百万円となる見込みです。

3. 個別業績予想の修正について

(1) 平成 23 年9月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年3月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,900	100	△500	200	154.05
今回発表予想(B)	1,937	148	△437	△375	△287.38
増減額 (B-A)	37	48	63	△575	—
増減率 (%)	1.9	47.8	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 22 年9月期第2四半期)	—	—	—	—	—

(2) 平成 23 年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年9月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,200	180	△600	300	236.78
今回発表予想(B)	3,600	240	△850	△900	△689.40
増減額 (B-A)	400	50	△250	△1,200	—
増減率 (%)	12.5	27.8	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年9月期)	—	—	—	—	—

(3) 修正の理由

<第2四半期>

売上高においては、概ね予想通りに推移し、前回予想より 37 百万円増の 1,937 百万円となる見込みです。営業利益においては、売上高の増加に加え、販管費の削減効果も寄与し、前回予想より 48 百万円増の 148 百万円となる見込みです。経常利益においては、営業利益の増加に加え、金利スワップ評価益が発生したこと等の要因により、前回予想より 63 百万円増の△437 百万円となる見込みです。四半期純利益においては、経常利益の増加要因はあるものの、1. 記載の特別損失の計上等の要因により、前回予想より 575 百万円減の△375 百万円となる見込みです。

<通期>

売上高においては、連結子会社からのソフトウェア使用料の増加等の要因により、前回予想より 400 百万円増の 3,600 百万円となる見込みです。営業利益においては、第2四半期までの利益増加により、前回予想より 50 百万円増の 240 百万円となる見込みです。経常利益においては、平成 23 年3月払込の優先株式・新株予約権発行に伴う新株発行費の発生等の要因により、前回予想より 250 百万円減の△850 百万円となる見込みです。当期純利益においては、1. 記載の特別損失の計上に加え、第3四半期以降においても有利子負債の削減を目的としたグループ各社の保有不動産の売却による固定資産売却損・貸倒引当処理の発生が予想される事等の要因により、前回予想より 1,200 百万円減の△900 百万円となる見込みです。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因等により、上記に記載した予想数値と大きく異なる可能性がある点にご留意ください。

以上